

謀を廻らし不當減額、賞與減少、慰安會費削減等々巨大なる爆彈は無産陣營に投下した。

組合組織の擴大と充實鞏固なる結果こそ目下の急務である。

組合内部にありては個人問題や感情は一切放棄し間断なく會合し闘争準備と戦術の考究、組合強化のため反動克服闘争基金の積立等以て統制ある闘争開始を可能ならしめ局内組合戦線統一のため既に組織せる局内組合共同闘争委員會をより活潑に戦闘化し闘争を通じて合同へと突き進まなければならぬ。

對外的には全國の交通運輸労働者戦線統一のため日本交通労働總聯盟の確立と組織の完備、戦闘化のため關西地方に於ける主體組合となり、彈壓迫害のため幾度か起ち上らんとせし京都市電従業員及び阪神、阪急、京阪、大軌、南海、阪和其他各郊外電車従業員と握手、組織結成を促進し、未組織労働者の獲得と組織組合、交通労働總聯盟加盟の勧誘等々電鐵トラストに對抗する戦線の擴大、中央集權單一組合結成のために努力すべきである。

然して擴大せる組織と鞏固なる團結力を以て經濟的には常に公共事業の美名にかくれ飽くなき搾取と抑壓、經濟界不況、收入減、豫算不足を口實に不當減額、賃銀低下を種々なる形式で次から次へと斷行する電氣當局に對し、此山積されたる全

從業員の不平不満を掲げて昭和七年度豫算編成人權費削減の陰謀の前に一大闘争を捲き起すべきである。こゝに於て飄つて過去に闘争を起すにそれはあまりにも代表のみの闘争で大衆的に敢行されなかつた事を遺憾とする。ために交渉、抗議に際しても市理事者は何日も、それは代表者の言であるとか、大衆はそんな事無關心だとかホサヤて常に無價値に終り何等獲得は不可能であつた、近き例を舉ぐれば慰安會費削減闘争、檢束中の職首反對闘争、公傷中の停年補育反對闘争等、かゝる横暴な不當な残酷な處置に對し從業員の正しい理由ある要求さへも一つとして容れられなかつた。

此實情から見ても如何に大衆行動が必要に迫られてゐるかは認識されるのである、來るべき闘争は全從業員の燃ゆるが如き意氣と鐵の如き決心による大衆の行動でなくては駄目だ。各支部、各組では絶えず組織會、研究會を開催し日常不平不満の暴露、階級意識の教養と動員訓練をなし行動綱領に掲げたる一切の要求を日常闘争に展開し資本の攻勢に逆襲し要求獲得のために邁進する。

り徹徹にては到底判斷のさせない程度である。それだけに交通産業は資本主義の重要産業として他産業の動脈として認められてゐるがために交通運輸に従事する労働者の使命は社會的にも階級的にも重大であり且闘争に意味がある。吾自助會は其使命を果さんがため階級戦の第一線に起ち團結權罷業權の獲得、言論集會結社出版の自由獲得、無産階級抑壓諸法令撤廢のために闘争せねばならぬ。

こゝに考慮を要するのは政治闘争と政黨關係である、政治闘争をより強力に遂行するには政治的結社も必要であるが、徒らに政黨關係に拘られ日常經濟闘争に支障を來すが如き事は過去幾多の組合に實例があり、慎重に考ふべきである。政黨に加盟しなくとも組合の力、大衆の政治的意識の覺醒さへあれば完全に闘争は出來得る。吾自助會は過去政黨支持はなく共、組合として政治闘争は決行し來つた、今後も組合第一主義に經濟闘争より政治闘争への目標に日本交通労働總聯盟傘下の各組合と共に果敢に經濟闘争を開ひ抜き組合統一の政治闘争へと邁進すべきである。

然して階級的労働組合として全國の労働組合、農民組合と提携し、

### 當面の行動綱領

- 一、交通労働總聯盟戰闘的單一組合化のための闘争
- 一、未組織交通運輸労働者獲得のための闘争
- 一、全國的労働組合農民組合戰闘的戦線統一のための闘争
- 一、交通労働總聯盟統一的政治進出のための闘争
- 一、團結權罷業權獲得のための闘争
- 一、言論、集會、結社、出版の自由獲得のための闘争
- 一、無産階級抑壓諸法令撤廢のための闘争